

令和4年度事務事業評価（令和3年度事後評価）**地域振興部**

所属名	事務事業名	ページ番号
協働推進課	まちづくり自治基本条例推進事業	2
協働推進課	市民活動拠点運営事業	3
協働推進課	市民活動補償制度経費	4
協働推進課	市民活動応援事業	5
協働推進課	地域コミュニティ推進事業	6

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	まちづくり自治基本条例推進事業	事業期間	平成 26 ~ 年度
担当部署・係名	協働推進課 市民活動推進係	担当課長名	岡 浩章
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	29参加と協働によるまちづくり	
	基本事業	市民参加と協働の促進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民等が主体となったまちづくりをすすめるためのルールである「佐賀市まちづくり自治基本条例」の普及・啓発を行う。また、条例施行後4年を超えない期間ごとに、自治基本条例検証委員会を開催し、条例の運用状況及び規定について検証を行う。				
事業の対象者	市民等（市民、市民活動団体、事業者）、議会、行政				
令和3年度主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・協働に関する職員研修：2回（新採研修75名、協働推進員68名） ・職員向け条例周知強化週間の実施：1回（8月） ・市民向け啓発講座：2回（佐大教育学部附属中2年146名、西九州大学短期大学部65名） ・事業者向け労政だよりへの記事掲載：2回（9月、1月） ・自治基本条例検証委員会の開催：5回（5月、7月、8月、10月、11月） 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	636	923			
うち佐賀市の負担額	636	923			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
まちづくり自治基本条例を知っている市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
12.5	17 12.5	19	22	25		

成果指標②						単位
市民活動（まちづくりや地域の活動等）を行っている市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
27.6	45.5 27	47	48.5	50		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	条例施行から7年が経ち、一定の市民等には浸透してきているが、まだ多くの市民等には認知されていない。



成果目標達成に向けた対応策等
<ul style="list-style-type: none"> ・自治基本条例検証委員会の検証結果に基づき、社会情勢の変化や多様性への尊重を踏まえた啓発パンフレット等を作成する。 ・まちづくりに関する情報について、幅広い世代に情報が伝わるよう、動画やSNSなど多様な広報媒体を活用した周知啓発に取り組む。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	市民活動拠点運営事業	事業期間	平成 23 ~ 年度
担当部署・係名	協働推進課 市民活動推進係	担当課長名	岡 浩章
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	29参加と協働によるまちづくり	
	基本事業	市民活動団体への支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民活動の推進を図るため、市民活動団体の活動拠点となる市民活動プラザを佐賀商工ビル内に設置し、その運営については、指定管理者制度を導入して行う。（開館：1日13時間・年間359日、指定管理者：特定非営利活動法人佐賀県CSO推進機構、指定期間：平成29年4月1日から令和4年3月31日まで）また、市民活動プラザ内で行う市民活動支援のための各種事業を実施している。				
事業の対象者	市民				
令和3年度主な活動実績	■市民活動プラザ利用実績 利用者数：39,673名、利用登録団体：591団体、活動共同スペース貸出数：6ブース、ロッカー貸出数：95個、レターケース貸出数：109個、相談支援件数：169件、情報収集・発信件数：4,678件 ■市民活動プラザの利用促進等のための「市民活動プラザソフト事業」：パネル展示、動画配信（特設サイト） 実施期間：令和4年1月8日～2月28日、動画視聴件数：2,908件				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	40,120	35,439			
うち佐賀市の負担額	36,143	35,439			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
年間利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
40,757	63,000 39,673	51,000	58,000	62,000		

成果指標②						単位
市民活動（まちづくりや地域の活動等）を行っている市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
27.6	45.5 27	47	48.5	50		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う市民活動団体の活動自粛の影響や、まん延防止等重点措置期間の市民活動プラザ会議室利用制限等によって、利用者数が減少した。



成果目標達成に向けた対応策等
・「市民活動プラザソフト事業」の内容の充実、市民活動プラザの各種イベントに関する広報の強化などを通じ、今まで市民活動になじみがなかった市民へのアプローチを図る。 ・令和4年度に予定しているオンライン環境の充実や感染症対策に配慮したフロア改修を機に、市民活動プラザのPRを強化することで新規利用者増を目指す。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	市民活動補償制度経費	事業期間	平成 19 ~ 年度
担当部署・係名	協働推進課 市民活動推進係	担当課長名	岡 浩章
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	29参加と協働によるまちづくり	
	基本事業	市民活動団体への支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	安心して市民活動を行うことができるように、市民活動を補償対象とする保険契約を締結し、市が保険料を全額負担することにより、保険の対象となる市民活動中の事故に対して補償を行う。				
事業の対象者	佐賀市内に活動拠点を置いた市民活動団体の活動者				
令和3年度主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・審査件数 21件（傷害事故：21件、損害賠償事故：0件） ・支払件数 17件（傷害事故：17件、損害賠償事故：0件） ・未払い4件の内訳：請求放棄2件、保険会社で審査中2件 ・損保会社から市民に支払われた保険金 549,000円（令和4年6月28日時点） 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	5,306	4,497			
うち佐賀市の負担額	5,306	4,497			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
支払件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
16	21 17	21	21	21		

成果指標②						単位
市民活動（まちづくりや地域の活動等）を行っている市民の割合						千円
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
27.6	45.5 27	47	48.5	50		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	コロナ禍により市民活動が低迷する中で、支払件数は一定の水準を保っている。



成果目標達成に向けた対応策等
・市民活動中の万一の事故に対する安心の確保は活動を促進させるための大きな支援の一つであるため、市立公民館での制度説明パネルの掲示等により、引き続き制度の周知に努める。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	市民活動応援事業	事業期間	平成 23 ~ 年度
担当部署・係名	協働推進課 市民活動推進係	担当課長名	岡 浩章
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	29参加と協働によるまちづくり	
	基本事業	市民活動団体への支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民活動団体の活動基盤の強化を図り、市民のまちづくりへの参加と実践をすすめるために、市民活動団体が行う公益的な事業に対して補助金を交付する制度である。 【ちかっと部門】補助対象経費の3分の2以内、上限10万円 ※総事業費15万円以下の事業が対象 【カット部門】補助対象経費の3分の2以内、上限30万円 ※2会計年度まで連続交付可				
事業の対象者	市民活動団体、市民				
令和3年度主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・交付件数：21事業（団体）（【ちかっと部門】7事業、【カット部門】14事業） ・補助金交付額：4,669,928円（【ちかっと部門】682,431円、【カット部門】3,987,497円） ・補助対象事業をPRする冊子の作成・配布（500冊） 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,930	5,062			
うち佐賀市の負担額	1,750	144			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
実施される事業のボランティアスタッフ数						人
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R3 実績	
436	440	445	450	455	147	

成果指標②						単位
本制度により実施される新規団体の数（累計）						団体
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R3 実績	
5	8	11	14	17	10	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアスタッフ数については、新型コロナウイルス感染症対策として活動規模を縮小するなどの影響により目標に達しなかった。 ・新規団体数については、感染症対策をしながら活動を開始する団体が出てきており、目標に達した。



成果目標達成に向けた対応策等
<ul style="list-style-type: none"> ・PR冊子を引き続き作成すると共に、市報等での広報により制度や補助対象事業の周知を図り、市民活動や団体への関心を高める。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	地域コミュニティ推進事業	事業期間	平成 22 ~ 年度
担当部署・係名	協働推進課 地域コミュニティ室	担当課長名	岡 浩章
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	29参加と協働によるまちづくり	
	基本事業	地域コミュニティ活動の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	住民ニーズの多様化により、地域が抱える課題は複雑化しているため、公平性・平等性に基づく画一的な行政サービスでは全てのニーズや課題に的確に対応していくことが困難になっている。このため、住民自らが地域の課題に向き合い、行政と一体となって解決する仕組みを構築することにより、住民自身の手によるまちづくりを進めるとともに、住民の自治意識の醸成を図る。				
事業の対象者	市民				
令和3年度主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり協議会の運営支援 31校区（地区） ・まちづくり協議会の設立に向けた支援 1校区（地区） ・コミュニティサイト「つながるさがし」の運営等による広報活動 ・「地域づくり交流会」の開催 等 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	52,046	57,706			
うち佐賀市の負担額	52,046	55,406			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
地域コミュニティ組織（まちづくり協議会）の設立数						校区（地区）
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
30	31 31	32	32	32		

成果指標②						単位
実践校区（地区）での活動件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
401	434 506	512	576	640		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	<ul style="list-style-type: none"> ・準備委員会の開催支援等を行うことで、富士まちづくり協議会が発足した。 ・まちづくり協議会実践校区（地区）の活動が、新型コロナウイルス感染症禍でも実施可能な活動を継続できるよう事例を紹介するとともに補助金の繰越要件の緩和等の支援を行った。

成果目標達成に向けた対応策等

<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり協議会が発足されていない三瀬校区で、設立に向けた機運の醸成や体制づくりなどを促す。 ・まちづくり協議会実践校区（地区）の活動が新型コロナウイルス感染症禍でも実施可能な活動を継続できるよう事例の紹介及びまちづくり協議会自体の活動の周知等の支援を行う。
